

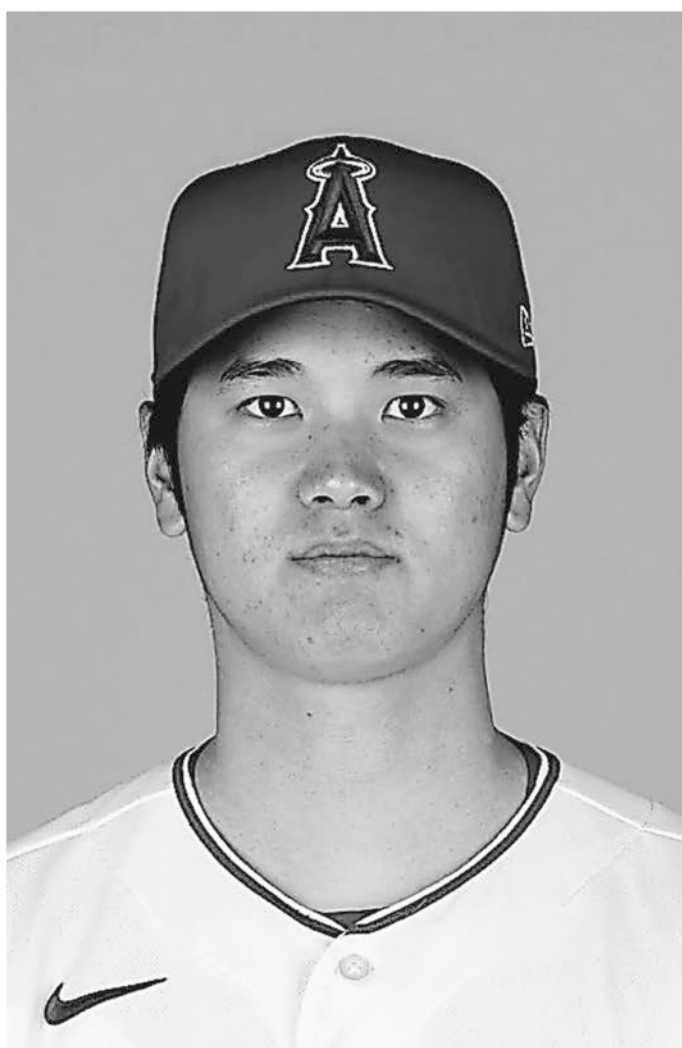
大谷MVP

米大リーグ
二刀流、満票で選出
イチロー以来20年ぶり

【ニューヨーク共同】米大リーグ機構は18日、専門局MLBネットワークの番組でア・リーグの最優秀選手(MVP)を発表し、投手の大谷翔平(27)が満票で初選出された。日本選手では2001年のマリナーズのイチロー以来、20年ぶりのイチロー以来、20年ぶりの「二刀流」による歴史的な活躍を見せたエンゼルス本ハム時代の16年にパ・リーグMVPに輝いており、

日米で選手最高の栄誉を手にした。

大谷はメジャー4年目の今季、投手で9勝2敗、防御率3・18、156奪三振。打者でも打率2割5分7厘、リーグ3位の46本塁打、100打点、26盗塁だった。他に最終候補に残っていた48本塁打でタイトルを獲得したウラジーミル・ゲレロ、45本塁打のマークス・セミアン両内野手(ともに今季終了時はブルージェイズ)を上回り、15年のブラيس・ハーパー(当時ナショナルズ、現フィリーズ)以来の満票となった。



エンゼルスの大谷翔平